# FLASH薬理学

## 目次

◆ まえがき ……3

## 第1章　総論

001 医療と疾患 ……12
002 薬，薬物，薬剤 ……17
003 主作用と副作用 ……20
004 薬害 ……26
005 薬効と自然変動 / プラセボ効果 ……29
006 新薬開発 ……32
007 個別化薬理学 ……36
008 薬物の投与経路①（非経口投与） ……39
009 薬物の投与経路②（経口投与） ……45
010 薬物の投与経路③（その他） ……50
011 投与後の薬物（薬物動態） ……54
012 半減期とクリアランス ……58
013 薬物と肝腎とpH（排出） ……61
014 薬物相互作用 ……64
015 シグナル伝達と薬物 ……68
016 リガンド，アゴニスト，アンタゴニスト ……71
017 抗体医薬 ……75

**column**

患者さんと患者様／有益な対処療法<高血圧症>／薬物 / 薬剤 / 薬品の例文／活性本体と塩化合物／酵母アルブミン／脳科学が進歩したら／ノセボ効果（nocebo effect）／PROBE 法／臨床試験の事故／ヘルシンキ宣言／日本の治験の問題点／大腿四頭筋拘縮症／ワクチン（皮下注もしくは筋注）／避妊インプラント／皮下徐放剤／吸収速度が異なる製剤（インスリン）／腸肝循環の例：インドメタシン／腸内細菌／ビスホスホネート系薬剤（骨粗鬆症治療薬）／ニフェジピンとニトログリセリンの舌下投与の注意点／アルブミンの役割／単純なコンパートメントモデル／肝機能 / 腎機能と薬物／ポリファーマシー／標的が不明な薬物／ジェネリック医薬品とバイオシミラー／バイスペシフィック抗体／

## 第2章　消化器


018 消化器疾患概要 …… 80
019 消化性潰瘍治療薬 …… 83
020 胃粘膜防護薬 …… 87
021 消化管機能性疾患 …… 89
022 ウイルス性肝炎 …… 92
023 肝臓防護薬（庇護薬） …… 97
024 膵臓疾患 …… 99
025 炎症性腸疾患 …… 102
026 便秘と下痢 …… 106

column

石灰沈着性腱板炎に有効なシメチジン／アルミニウムとアルツハイマー病／胃粘膜防護薬からドライアイ治療薬へ／スルピリド／アロセトロンの米国での認可について／ウルソデオキシコール酸の歴史／下剤中毒／


## 第3章　循環器・血液


027 高血圧①（循環系概要） …… 112
028 高血圧②（概論） …… 116
029 高血圧③（主要薬） …… 120
030 高血圧④（代替薬） …… 125
031 心筋梗塞・狭心症治療薬① …… 128
032 心筋梗塞・狭心症治療薬② …… 131
033 心不全治療薬 …… 133
034 不整脈 …… 138
035 利尿薬 …… 142
036 造血薬（貧血治療薬） …… 145

column

Jカーブ／原因が明らかな高血圧（2次性高血圧）／合剤ラッシュ／βブロッカーの糖代謝への影響／降圧ワクチン／腎交感神経アブレーション／ストレプトキナーゼとウロキナーゼ／BNP判定：心臓のストレス度がわかる／頻脈と頻拍（徐拍）／シロスタゾールの徐脈への処方／エネルギーや情報を伝達するATP／皮下点滴（皮下輸液法）／多飲症／高山病／鉄過剰症／異食症（pica）／脳貧血／


## 第4章　呼吸器


037 呼吸器概要 …… 150
038 咳，痰 …… 153
039 気管支喘息 …… 155
040 慢性閉塞性肺疾患 …… 159
041 肺高血圧症 …… 161
042 マクロライド …… 163

column

換気機能障害の種類／デキストロメトルファン（メジコン®）／

## 第5章　内分泌


043 ホルモン …… 166
044 下垂体ホルモン …… 170
045 甲状腺機能異常の症状① …… 175
046 甲状腺機能異常の症状② …… 177
047 副腎髄質 …… 179
048 副腎皮質 …… 181
049 性ホルモン …… 185
050 糖尿病 …… 190
051 脂質異常症治療薬 …… 197
052 骨粗鬆症（Ca代謝） …… 199


**column**


クレオパトラは甲状腺機能亢進症？／エピネフリンとアドレナリン／消化性潰瘍：糖質コルチコイドの有害作用／月経周期と経口避妊薬／「ウジ」による壊死組織の除去／HbA1c（月），グリコアルブミン（週），1, 5-AG（日）／食事療法と運動療法／糖尿病とアルツハイマー病／治療ストラテジーの変遷／卵（黄身）と血中コレステロール／破骨細胞を活性化するリガンド（RANKL）を阻害するヒト化モノクローナル抗体／ビスホスホネートはがんの骨転移にも有効／


## 第6章　神経


053 神経系概論 …… 204
054 脳血管障害治療薬 …… 206
055 認知症①（アルツハイマー病） …… 211
056 認知症②（その他） …… 215
057 パーキンソン病治療薬 …… 218
058 片頭痛治療薬 …… 225
059 慢性頭痛 …… 228
060 統合失調症治療薬 …… 230
061 催眠薬 / 抗不安薬 …… 232
062 うつ病と躁病 …… 236
063 てんかん …… 239
064 薬物乱用 …… 242
065 麻薬性鎮痛薬 / 緩和ケア …… 246
066 睡眠障害 …… 249
067 自律神経系 …… 251
068 交感神経系薬物 …… 254
069 副交感神経系薬物 …… 257
070 骨格筋作用薬 …… 259
071 全身麻酔薬 …… 264
072 局所麻酔薬 …… 267


**column**


アクソンと薬物／脳科学／観血操作時に抗血栓薬をやめる？ やめない？／ワクチン療法／FTDとFTLD／Muhammad Ali の伝説の試合／MPTPとパーキンソン病モデル作成／セロトニン症候群／アルカロイド／片頭痛の特徴／向精神薬，抗精神病薬，神経遮断薬／「催眠薬で糖尿病が治る？」というTV番組での誤報／新型うつ病／塩類薬物の名称／リチウムの歴史／電気けいれん療法（電気ショック療法）／高齢者のてんかん／抗てんかん薬の作用機序／薬物関連の法律／薬理学的麻薬と法律的（社会的）麻薬／アセチルコリン受容体／散瞳薬／散瞳／前立腺肥大症／過活動膀胱／農薬中毒とサリン／悪性症候群／悪性高熱症／薬剤性過敏症症候群／バランス麻酔／エーテル，クロロホルム／硬膜外麻酔／腰椎麻酔（脊髄くも膜下麻酔）／

## 第７章　感染症

073 感染症概論 …… 272
074 耐性・菌交代症・日和見感染 …… 275
075 抗菌薬総論 …… 277
076 抗菌薬各論 …… 281
077 ウイルス感染症 …… 284
078 真菌感染症 …… 287
079 寄生虫（含ダニ，シラミ）感染症 …… 289
080 消毒薬 …… 291

column

便移植／治療域／腸内細菌／体のなかのビオトーム／グラム染色／結核／ヘルペス感染症／相互作用で抗HIV薬の薬効増強／アムホテリシンBのリポソーム製剤

## 第８章　抗がん薬

081 抗がん薬概論 …… 296
082 従来型抗がん薬①（総論） …… 299
083 従来型抗がん薬②（各論） …… 301
084 MTX，5-FU，活性葉酸 …… 305
085 分子標的薬 …… 307
086 その他の抗がん薬① …… 312
087 その他の抗がん薬② …… 315

column

幹細胞／分子標的薬の名称の由来／抗がん薬の有効性／ソリブジン事件／

## 第９章　抗炎症薬

088 炎症 …… 318
089 NSAID …… 320
090 膠原病（関節リウマチ，SLE） …… 324
091 痛風治療薬 …… 327
092 抗アレルギー薬 …… 331

column

月経困難症／アスピリンは不老長寿の妙薬か／炎症収束／アセトアミノフェンとパラセタモール／COX2 選択的阻害薬は安全か？／尿酸は悪者か／ありふれた薬物の併用による重篤な有害作用／

# 第10章　その他


093 眼疾患 …… 336
094 抗肥満薬 …… 341
095 生活改善薬 …… 343
096 皮膚疾患 …… 348
097 漢方薬 …… 352
098 造影剤 …… 356
099 サプリメント …… 360
100 放射線障害 …… 364

**column**

正常眼圧緑内障／白内障／脂肪吸着系ダイエット食品／にがりダイエット／円形脱毛症の治療／樹皮などからなる漢方薬／葛根湯／漢方薬の原材料不足／$CoQ_{10}$の偽薬／医療費軽減の旗手か，尿療法？／コ・メディカルという呼び方／

◆ あとがき …… 367

◆ 索引 …… 368


**本書の使い方**

本書は主として医学部および看護系学部の薬理学を対象としている．その他の医療系学科でも薬物治療の基礎を修得できよう．本書の使い方として以下を提案する．

1）各セクション冒頭の「要点整理」を理解（暗記）しよう．
　▶医療従事者としての最小限の知識を得られよう．

2）興味が湧いたら，本文を拾い読みしよう．

3）本文を通読したら，理解度を応用問題で評価しよう．

4）余裕ができたら，詳しい教科書（あとがき参照）を通読しよう．